

【伊賀市立上野西小学校】

3班に分かれて、3つのエリア「森と虫」「水生生物」「ネイチャークラフト」を順番に体験しました。「森と虫」エリアでは、森の土に注目して、菌類や虫の観察をしたり、お話を聞いたりしました。また、湿地の希少種をクイズ形式で探し、絶滅危惧種について学びました。「水生生物」エリアでは、プランクトンや水生生物の観察をしました。「ネイチャークラフト」では、園内に生えているネジキを材料にペンダントを作り、ネジキという木や里山について学びました。3つの体験を通して、子どもたちは五感をフル活用して動植物とふれあい、森のしくみやはたらきなどについて真剣に考え、理解が深まったようでした。



森の観察。何を発見するかな？



朽ち木の中にいた虫たちを観察。



サギソウ園の湿地で希少種探しのクイズと湿地について学びました。

プログラム概要

内容	・観察（①森と虫②水生生物） ・ネイチャークラフト作り
時間	3時間 10分
場所	三重県上野森林公園
対象	3年生 130人
講師	森のせんせい：三重県上野森林公園
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した市事業「伊賀の森っこ育成推進事業」

【伊賀市立成和西小学校】

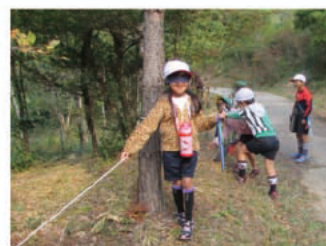
はじめに2時間程度、松かさやドングリ、葉っぱなどを拾いながら園内を散策し、アメリカザリガニ釣りをして遊びながらザリガニの観察をし、アメリカザリガニが外来生物であることなどのお話も聞きました。その後、ネジキのペンダント作りをして、木の変化を楽しみました。

【伊賀市立^{みわ}三訪小学校】

最初の1時間半は、ウォークラリーで森林学習をしながら、園内の里山の木々や草花に触れ、名前を覚えながら自然に親しみました。樹皮や木の質感、道の起伏などをよりしっかりと感じてもらうために、目隠しをして歩く体験をしました。里山の森をぐるっと体験した後に、森の大切さについて質問すると、体験してきたことをベースにしていろいろな答えが返ってきました。次の1時間は、ネジキのペンダントを作りました。ネジキという一つの木とじっくり向き合い、人の手やアイデアが加わることで自然素材からものづくりが出来ることを体験しました。

プログラム概要

内容	・里山散策 ・ネイチャークラフト作り
時間	2時間 30分
場所	三重県上野森林公園
対象	成和西小学校 1年生 14人 2年生 19人 三訪小学校 1年生 15人 2年生 8人
講師	森のせんせい：三重県上野森林公園
備考	「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した市事業「伊賀の森っこ育成推進事業」



目隠しをして歩きました。子どもたちはとても楽しそうでした。